

第 25 回茅ヶ崎平和映画祭・茅ヶ崎良い映画を観る会第 429 回特別例会

2024 年 8 月 22 日 (木) 茅ヶ崎市民文化会館小ホール

上映開始 ①10:30 ②14:30 ③18:30 開場各 30 分前

①②上映終了後神山監督よりお話があります

料 金 一般 1000 円 ハンデ 800 円 (当日各 200 円増) 高校生以下無料

プレイガイド 茅ヶ崎市民文化会館 / 長谷川書店 (茅ヶ崎駅北口・南口)

鶴彬生誕 100 周年記念作品  
ドキュメンタリードラマ



鶴<sup>つる</sup>彬<sup>あきら</sup>こころの軌跡

池上リヨマ 榎山文枝 高橋長英 安藤一夫 角谷英次 河野しずか 伊寄允則 和田光司 ナレーター 日色ともゑ

平和のために生きぬいた詩人の魂

神山征二郎監督作品



つるあきら

# 鶴彬 ころの軌跡

神山征二郎監督作品

戦争へと向かう激流に立ちふさがり、若き詩人の魂

名匠 神山征二郎監督が万感の想いをこめて放つ、清冽な映像詩

昭和初期、日本が中国への侵略戦争に突入していく暗黒の時代に、「川柳」の革新と芸術的向上を目指し、その「川柳」を武器に、反戦、反権力を貫いたひとりの若者がいた。

鶴彬、本名 喜多一児（きたかつじ）。1909年(明治42年)1月1日、石川県川北郡高松町(現在はかほく市)に生れ、15歳のころから、川柳を作り始める。

軍隊内での反戦活動で逮捕され服役した2年間を除き、1937年(昭和12年)12月、治安維持法違反で逮捕され、留置所で赤痢にかかり、翌年9月14日、29歳で亡くなるまでの短い間に1000をこえる句と90余の評論、自由詩などを残した。

その全作品を発掘しまとめた「鶴彬全集」(一叩人編・たいまつ社刊)の復刻をした、作家の澤地久枝さんや、評論家の佐高信さん、作家の田辺聖子さんら、出版物や講演で鶴を紹介する方も増えてきているが、鶴彬を知る人はあまりにも少ない。

生誕100年を迎えた2009年、鶴の作品と、生き様をとおして、あの暗い時代へと歴史が押し戻されそうな危険性をもとに現代に鮮烈なメッセージを届けたいという、地元・石川県民の熱い思いと、様々な困難を強靱な意志で乗り越えた名匠・神山征二郎監督によりドキュメンタリードラマ「鶴彬 ころの奇跡」が完成し、全国に届けられた。

主人公・鶴彬にはみずみずしい感性でみごとに演じきった新鋭・池上リョウマが。鶴を支える井上剣花坊・信子夫妻に、高橋長英、樫山文江のベテランが厚みを添えている。撮影は「宮沢賢治その愛」などの伊藤嘉宏、音楽は「ラストゲーム最後の早慶戦」などの和田薫があたり、清冽な映像詩となった。

製作：映画「鶴彬 ころの軌跡」製作委員会

製作プロダクション：神山プロダクション 2009年 90分

主催：茅ヶ崎平和映画祭実行委員会／茅ヶ崎良い映画を観る会

後援：茅ヶ崎市／(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

問合せ先：福田 0467-86-8038／山本 090-5408-4041

暴風と海との恋を見ましたか  
生き難き世紀の闇に散る火華  
都会から帰る女工と見れば病む  
塹壕で読む妹を売る手紙  
遂にストライキ踏みにじる兵隊である  
暁を抱いて闇にみる蕾  
枯れ芝よ団結をして春を待つ  
万歳とあげて行った手を大陸において来た  
手と足をもいで丸太にしてかえし  
胎内の動き知るころ骨(こ)がつき

